



きっしょういいん 秋

私たちが平和の尊さを
伝えていきたい
原水禁世界大会に参加して

●職場紹介

患者さんから学び感じたことを大切にしたい

3階病棟（一般病棟）

●秋の仲間づくり・保健会基金強化月間のお知らせ

私たちが平和の尊さを
伝えていきたい

原水禁世界大会に参加して

今年も、原水爆禁止世界大会が開催され、私たちは、8月7～9日の長崎大会に参加してきました。世界中から7800人もの方々が参加し、25ヶ国85名の政府代表も参加。特に今年は、オバマ大統領が「核兵器のない世界をめざす」と明言したことが、核兵器廃絶を願う全ての人を励まし、とても活気と希望にあふれた大会であったと思います。

私たちは、原水禁世界大会には初めての参加でした。6月から、少しずつ世界大会のことや原水爆のことについて勉強をはじめ、核兵器はないほうがいいなあと思っっていました。しかし、実際に長崎に行ってみると、核兵器がいかに恐ろしいもので私たちに必要のないものかを知りました。現地では当時の写真などを見ることができました。また、実際に被爆された方のお話も初めて聞くことが出来ました。また、原爆投下直後の光景はとても恐ろしかったこと、戦後も後遺症に悩まされたり、不十分な政府の保証に苦しんだりされたことを知り、とても辛く感じました。仲間たちで、64年前の長崎はどんな様子だったのかを想像をしながら、被爆の被害、戦争の実相に迫ることができました。

3日間の体験を通して、私たちは核兵器をなくさなくてはいけないと強く感じました。オバマ演説もあり、今、まさしく核兵器廃絶への岐路に立っているのだと思います。

また、戦後64年経った今、被爆者や戦争を体験された方々は、残念ながら少なくなっています。私たちは、被爆者の生の声が聞ける最後の世代です。今、私たちが被爆や戦争の体験を聞き、次の世代に平和の尊さを伝えていかなければならないと思います。

(表紙からのつづき)

最後になりますが、私たちを送り出すために、患者さんや地域みなさんからたくさんのカンパや折り鶴をいただき、ありがとうございます。みなさんに心をこめて折っていただいた折り鶴は長崎の平和公園に納めてきました。今回の経験を通して、私たちは原水禁運動や「核兵器はいらない」の声を語り継いでいかなければいけないと思うようになりました。このような機会を提供していただけたことに、この場をお借りしてお礼申し上げます。これからも核兵器廃絶のために出来ることから取り組みたいと思います。

吉祥院病院代表团一同



▲吉祥院健康友の会と久世診療所からの参加者とともに長崎平和公園にて

みんなの一言

今回参加して、少しですが当時の写真を見たり、話を聞き、長崎や広島に原爆が落とされたこと、そのことに苦しんだ方がたくさんおられることをとても辛く感じました。また同時に自分が知らないことがたくさんあると感じました。今回この大会に参加して、事実を知らないことが一番恥ずかしいのではないかと感じました。まずは事実をきちんと知り、それから自分にできることを考えていくことが大切だと思います。

看護師

長崎に行ったことで、今まで知らなかったことをたくさん学ぶことができ、とても有意義な時間を過ごせました。

今回参加して、一番良かったことは、被爆者の方々から戦争や原爆のお話を直接聞いたことです。今、被爆者の方々が高齢になられ、生存されている方も少なくなっているなかで、直接、体験談を

聞いたことは貴重なことであつたと思います。また、「僕たちの世代がしっかりと戦争や原爆のことを次の世代の人たちに伝えていかなければならない」とも改めて思いました。この経験をこれから様々な活動に活かし、平和活動に参加をしていきたいと思っています。

事務

この大会に参加して実際に被爆された方や、核兵器廃絶を訴える方々の話を聞いて、核兵器がいかに恐ろしいもので私たちに必要なものかを知りました。ある被爆者の方は64年たった今でも目を閉じれば『化け物』が歩いている光景が浮かんでくるとおっしゃっていました。一日たりとも忘れられないと。この被爆者の方々が見てきた恐ろしい光景を今後二度と見なくてすむように核兵器は世界からなくさなければいけません。今回学んだことを周りの人に伝えることで、核兵器廃絶の動きに少しでも力になりたいと思います。一日も早い核兵器廃絶と平和な世界を願っています。

薬剤師

オバマ米大統領のプラハでの演説を機に、世界の国々が核兵器廃絶に向けて動き出していることを原水爆禁止世界大会

に参加し、肌で感じることができました。

大会では実際に原爆の被害に遭われた方々の話を聞くことで、二度と広島や長崎で起きたことを繰り返してはならないと強く思うようになりました。核兵器廃絶への思いはとも強くなりましたし、世界の人々が一丸となって核兵器廃絶に取り組まなければならないと思いました。

先輩たちが築いてきた核兵器廃絶の願いを、人任せにするのではなく、同じ世代の人たちと力を合わせて引き継ぎ、積極的に草の根運動に参加する必要があると思いました。

理学療法士

今回、長崎にいくのは初めてで、原水禁世界大会に参加させてもらって、平和について学習できたことを感謝しています。

1日目は、世界から7000人も来られたことにビックリしました。2日目の分科会は、「核兵器のない世界を」の世界の行動と交流に参加し、世界ではオバマ大統領の発言とNPT再検討会議に向けて、署名を集めたりされていました。今回の世界大会は、来年のNPT再検討会議がメインだったように思いました。

介護福祉士

原水爆禁止世界大会に参加して、核を廃絶できるのかではなく、そのために何をすべきかで私達ができるのは過去を知り伝えることだという意見に感銘を受けました。

印象に残ったのは佐世保基地調査行動です。船上から見た港の現状は弾薬庫が民家に近いこともあり、住民に危険と不安をもたらしています。港にはイージス艦や原子力潜水艦が停泊していて、平和と思われる日常のすぐ目の前に戦争の影があることに憤りを感じました。

原爆が投下されて64年が経ち、被爆者の声が聞ける最後の世代になりつつあります。その平和への尊さの声を次の世代に伝えていこうと思いました。

事務



「核兵器のない世界を」の署名へのご協力をお願い

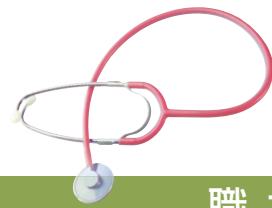


吉祥院病院では、「核兵器のない世界を」という署名を集めています。この署名は、核兵器をなくすために日本全国で人口の1割にあたる1200万筆の署名を目標に集めています。また、この署名は世界各地でも取り組まれています。

集めた署名は、来年4月にアメリカ・ニューヨークで行われるNPT再検討会議に持っていきます。この会議で、核兵器をなくすための具体的な道筋を決めさせるために、私たちの声を署名に変えて集めています。吉祥院病院でも今年の6月から取り組み、原水禁世界大会までに、約2800筆を集めることができました。ご協力ありがとうございました。

この間、祇園や嵐山でも署名活動に取り組んできましたが、観光に来た外国の方々も署名に応じてくれて、「核兵器をなくそう」という声は人類共通の願いなのだ実感しつつあります。署名用紙は病院の受付窓口にあります。署名は、来年5月まで引き続き集めています。核兵器廃絶のために署名へのご協力をお願いします。

医事課 前田 和也



職場紹介

#03

3階病棟 (一般病棟)

3階病棟には、今年度2名の新人看護師を迎え入れることが出来ました。入職時の新人2人は、戸惑いと緊張の連続でしたが、5ヶ月たった今では夜勤も行い、患者さんや先輩看護師に支えられて頑張っています。

病棟では、肺炎などの呼吸器疾患、心不全や肝障害、糖尿病、一泊入院の肛門手術を受けられる患者さんなど、急性期・慢性期を問わずに入院を受け入れています。

しかし、医療を取り巻く環境は、2年毎に厚生労働省が行う診療報酬の改定によって、医療施設の機能分化が進み大きく変化しました。そのため、3階病棟には、外来やあらぐさ診療所、南区の診療所の患者さん以外にも、近隣の病院や区

患者さんから学び感じたことを大切にしたい



を越えての入院依頼が増加しています。特に、癌患者さんとの関わりが増えました。癌の痛みに対する治療だけではなく、限られた時間を有意義なものに出来るよう、看護として何が出来るかと苦悩しながら、自宅で過ごす機会や要望に応える努力をし、多くの患者さんを看取てきました。

また、少しでも、1人でも多く、入院治療の継続が必要な患者さんを受け入れ、人工呼吸管理、酸素管理、点滴や薬の管理、検査やケア、寝たきり患者さん、認知症患者さんの対応などに奮闘しています。

治療に関しては、医師とのカンファレンスやリハビリカンファレンスを行い、

退院後の生活を見据えて在宅指導を行い、担当ケアマネジャーや関連業者、ソーシャルワーカーと話し合いを積み重ねて在宅調整を行っています。

入院・退院がめまぐるしい病棟ですが、1人1人の患者さんに対応できるように担当看護師制をとっています。反面、医療の機能分化により、様々な役割が求められるようになりました。日々の私たちの活動を振り返る事も必要ですが、看護実践に役立つ研修に参加し、よりよい看護が提供できるように学んでいます。

ベッドサイドで血圧などの測定や観察を行うだけではなく、オムツ交換・食事介助をしたり、お風呂入れと汗を流す一方で、認定看護師のアドバイスや栄養サポートチームの活動によって褥瘡のケアに取り組んだり、食事の状況を観察し摂食機能訓練を行ったりと他職種との連携や学びを実践に活かしています。

多忙な業務に流されるのではなく、安全性を保ち、体の痛みや辛さだけではなく、生活にも視点もあって、入院患者さんとの関わりで学び感じてきたことを大切にしたいと思っています。今後も看護の質向上にむけて元氣いっぱい努力していきます。

3階看護課 師長

鈴木 佳子



「2009年秋の仲間づくり・保健会基金強化月間」 地域の皆様のご協力をお願いいたします

この秋に「増やそう会員！つよめよう基金！いのちと健康を守る友の会拡大強化月間」に取り組みます。地域の皆様のご協力をよろしくお願いいたします。



▲吉祥院中島町で開催した班会

吉祥院病院や各事業所が加盟する全日本民医連では、それぞれの友の会員・医療生協組合員・社員・互助会員などの組織のことを、共同組織と呼んでいます。全国で330万を超える共同組織構成員の力で、医療・福祉・暮らしを守る住民組織として健康なまちづくりや助け合いの運動、平和や社会保障をまもり改善する運動になる、地域の中でかけがえのない存在になっています。また、民医連の事業と運動に主体的に参加し、医療とともに考え、経営をまもり、医師をはじめとした職員の成長に

も大きな力を発揮しています。

吉祥院健康友の会も、送



▲保健学校での倉田医師

迎ボランテアや入院の方の洗濯ボランテア、地域で寄りあつての班会・サークル活動や保健学校・こども健康教室など健康を考える集まり、バス停にベンチ設置を京都市にもとめる取り組み、後期高齢者医療制度廃止を求める署名活動、など様々な取り組みを行っております。また「友の会だより」を発行し、お届けすることで会員さん同士のつながり・仲間づくりを重視しています。

そして21回目となる恒例の「元気まつり」を、今年は10月25日で予定して、準備にとりかかっております。

吉祥院健康友の会では、今回の月間でたくさんの方の新しい方を迎えたいと思っています。まだの方はぜひ、この機会にご入会下さい。ご近所・お知り合いの方で入会を

勧めたい方のご紹介もお願いいたします。併せて、京都保健会基金にも、皆様のお力をお貸しください。

また、月刊誌「いつでも元気」は、健康づくりや病気の話、医療制度や社会の動き、各友の会の活動などを写真入りでわかりやすく伝える、読みやすくて役に立つ雑誌です。月380円で、配達・郵送いたします。入会、購読のお問い合わせは、友の会役員・事業所職員までお気軽におたずねください。



いずれも、詳しくは吉祥院病院もしくは吉祥院健康友の会事務所（電話075-691-0545）までお問い合わせください。

吉祥院病院 組織課長

山路 卓也

様々な要求に応えられるように パワーアップします

脳血管Ⅱへ基準を類上げ リハビリテーション課

2007年10月に疾患別リハビリテーション認可施設としてオープンしたリハビリテーション課は、今秋早くも2年が経過します。多くの皆さんのご協力を頂き、業務に活動に日々パワーアップしています。

2007年10月認可取得時、脳血管Ⅲ（基準はⅠからⅢの三段階）という基準でしたが2009年7月より脳血管Ⅱという基準に類上げさせることが出来ました。この基準になるためには、リハビリテーション専門スタッフ体制が4人以上整う必要がありました。認可取得時、専門

スタッフは2人体制でしたが、今春新たに3人の新人スタッフが加わり、総勢5人となりました。



リハビリ分野は、治療後のリハビリは勿論のこと、健康増進や予防活動にまでリハビリテーションの存在価値は高まっています。外が暑く家でじっとしていたら最近体力が落ちてきた、何か運動したいが安全に行うにはどのようにすればいいか、介護の方法がわからず腰を痛めた、体が不自由になったので住環境を変更したいなど、一概にリハビリ分野といっても、治療後の機能回復分野を中心に、健康増進から腰痛予防や転倒予防、疾病予防など多岐に渡ります。

リハビリテーション課はこのような多岐に渡る要求にもしっかりと応えられる様に日々努力して自分達の力量を上げ、体制を整えて行きたいと考えています。今後ともよろしく願っています。

リハビリテーション課長

斉藤 正一

質の高い看護目指して

～日本看護学会「看護総合学術集会」で研究発表～

7月18日～19日の二日間、国立京都国際会館で日本看護学会「看護総合」学術集会が開かれ、3階看護課の吉田幸代看護師（現在は2階に在籍しています）が研究発表してきました。

日本看護学会は日本看護協会主催の学会で、10の領域に分かれて毎年全国各地で開かれています。中でも「看護総合」は看護全般についての演題が発表されるので規模が大きく、全国各地から看護師が参加します。今年も400以上の研究発表がありましたが、選考の結果選ばれた演題だけが発表出来る、かなり難関の学会です。

吉田看護師の発表はポスターセッションといって、研究内容が分かり易いように工夫を凝らして作成した大きなポスターの前に立ち、研究の説明を

したり、参加者からの質問に答えたり意見交換をしたりするというスタイルのものでした。

研究でまとめさせて頂いたのは、肺がんで亡くなられた患者さんの症例です。ご本人が望んだ退院を何とか実現させたいと一生懸命に取り組んだ看護の振り返りです。

発表する前は、誰も参加者が来なかったらどうしようと不安でしたが、当日は途切れなく沢山の看護師の方々がポスターの前に来てくださり、有意義な交流が出来ました。吉田看護師自身にも、大きな学びが出来た経験となりました。研究にご協力下さった患者さんご家族に深く感謝する次第です。

今後もどんどん研究に取り組み、

日々精進し、質の高い看護を患者さんに提供していきたいと思っています。

3階看護課 副主任 真柄 明子



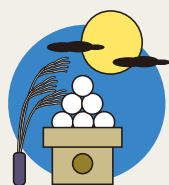
▲症例を発表した吉田幸代看護師

インフルエンザ 予防接種のお知らせ

今年度のインフルエンザ予防接種は11月1日から実施予定です。接種費用は昨年と同様に3000円です。

詳細につきましては決まり次第、待合掲示板などでお知らせいたします。

なお、吉祥院健康友の会の会員さんは友の会から補助がありますので、ご利用下さい。



編集後記

先日、長野県の白馬方面へハイキングに行ってきました。榑池自然園を歩き、2020 m辺りから見える白馬の大雪渓や、そびえ立つ山々を見ていると、この自然が出来上がる長い年月の中で、人間の歴史など何て短い出来事なのだろうと思いました。まるで生き急いでいるかのようにも思えます。そんな人間が作り出した核兵器一つで、この美しい自然が一瞬で灰になると思うと恐ろしくなりました。そう、やっぱり核兵器なんか要らない。美しい自然を、地球をいつまでも守り、未来の子らに繋いでいきたいものですね。
(上)

外来診療体制のお知らせ



2009年10月現在

			月	火	水	木	金	土
朝	内科	1診	近藤	近藤	清洲	三浦	近藤	近藤
		2診	三浦	三浦	井上	谷村	清洲	三浦
		3診	谷村	沢田	谷村	近藤	谷村	高屋
	外科	1診	加藤	倉田	倉田	倉田	鈴木	長岡
昼	内科	1診	近藤	近藤	春田 (糖尿病)		近藤	
		2診		中野 (内科/卒履)1:3-5通			三浦 (糖尿病)	
	外科	1診					泌尿器科	
夜	内科	1診	沢田		中野		近藤	
		2診	梅本		細野		三浦	
		3診			沢田		菅原	
	外科	1診	有吉 18:30～		長岡		素輪	
		3診	泌尿器科					

受付時間 朝 8:00～11:30 夜 16:30～20:00

診療開始は朝 9:00、夜 18:00 (月・金曜日の夜の内科は 17:30)
診療体制は事前に告知なく変更する場合があります。ご了承ください。

◎昼は予約制の診療です。事前の予約をお願いします。朝・夜は一部が予約制です。
◎当病院は社会福祉法の無料低額診療事業の指定病院です。保険や負担金でお困りの方は、早めに受付にご相談ください。

吉祥院病院で実施中の健診

○特定健診は医療保険者が行う健診です。健診を受けるためには医療保険者が発行する『受診券』と『健康保険証』が必要です。

対象となる方	対象年齢	自己負担額
①京都市国民健康保険	40～74歳の方	保険者により異なります (①京都市国保は500円)
②被用者保険者の被扶養者(家族)※		
③国民健康保険組合※		

※②被用者保険と③国民健康保険組合は受診いただけない医療保険者があります。病院窓口または電話にてご確認ください。

○京都市民の方が受けていただける健診

京都市国民健康保険の特定健康診査とほとんど同じ内容です。対象になる方には京都市から案内がとどきます。

対象となる方	自己負担額
④京都市民の後期高齢者医療の被保険者	負担はありません
⑤京都市民の生活保護受給者	

上記の健診制度の対象でない方も、吉祥院健康友の会の健診など受けていただける健診制度がありますので、当院健診担当者までお問い合わせください。
連絡先：保健管理課 電話075-691-6473 (直通)



社団法人 京都保健会

吉祥院病院

〒601-8314 京都市南区吉祥院井ノ口町43

TEL 075-672-1331 FAX 075-691-3477

<http://www.kissyoun-hp.org/>



ISO 9001 認証取得

交通のごあんない

●公共交通でお越しの方

JR 西大路駅徒歩 7 分

市バス「西大路九条」下車南西へ徒歩 5 分

市バス「吉祥院車道町」下車南東へ徒歩 5 分

●お車で越しの方

西大路九条の交差点を西へ

1つ目の信号を南へ 200m

病院の南西方向に駐車場があります